



時代の変化を捉えた事業展開を目指して

当社は、宇宙用高信頼性部品の安定供給を使命として1988年10月に設立されました。以来、我が国基幹ロケットをはじめ、技術試験衛星、地球観測衛星、科学衛星、国際宇宙ステーション／日本実験モジュール等、各種宇宙機システムに対して高機能・高信頼性部品を供給して参りました。

現在は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）殿の部品プログラムの一翼を担い、高度な宇宙機システム／機器に対応した高性能64Bitマイクロプロセッサの提供など、宇宙用高信頼性部品の開発・製造を担う企業として、最先端の宇宙用部品の安定供給に取り組んでおります。

加えて、宇宙関連企業からの中立性を生かした信頼性・品質保証に係る業務支援を積極的に展開しております。

宇宙空間では修理不可能な宇宙機システムの開発・製造の各段階において、ワークマンシップの確認を含めて、信頼性・品質の確保をサポートし、その客観性・透明性を担保することで、プロジェクトの成功を支えるとともに、開発期間の短縮やコスト削減に貢献しております。

さて、近年の気象では数十年に一度起るような事象が相次いでいると言った報道を耳にします。これは、大きな変化が起きている中で過去の情報をそのままでは現在に活用できないことを物語っています。

宇宙分野においても、宇宙基本計画や宇宙産業ビジョンの策定などにより、宇宙利用に

視点を置いた新たな波が押し寄せてきており、従来の延長線上では予測し得ない変化が起きつつあります。

宇宙利用の多様化に伴い、ミッションサクセスの定義も多様化し、それに合わせたミッション達成プロセスや信頼性・品質保証のあり方、部品技術に対しても多様化が求められる時代に入ってきています。

また、宇宙分野への新たな民間企業参入に伴う法整備の必要性から2016年11月に宇宙活動法が公布され、宇宙機システム等に対して一定の安全基準を満たすための許可制度が導入されます。このため、新規参入企業による宇宙機システムにおいても安全性に充分配慮した設計が求められ、これに対してもプロダクト／プロセスの両面で信頼性・品質を如何に確保するかが必要不可欠となります。

同時に多様化する安全性の確保、ミッション達成のベースとして、信頼性・品質プロセスに対する利用者・供給者間による共通認識の形成も求められます。

当社はこうした変化に対応して、これまで培ってきた技術を発展させて、多様なニーズへの変化を捉えた部品技術や信頼性・品質保証技術を提供し、共通認識形成の橋渡し役を担うことで、安全性確保・ミッション達成に貢献し、微力ながら日本の宇宙産業の更なる発展に寄与したいと考えております。

今後とも、当社事業推進にあたり日本航空宇宙工業会をはじめ関係各位からのご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。